科研費

科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 5 年 6 月 1 2 日現在

機関番号: 11301

研究種目: 基盤研究(B)(一般)

研究期間: 2020~2022 課題番号: 20H02407

研究課題名(和文)科学的エビデンスが支える効果的で持続的な災害伝承

研究課題名(英文)Effective and Sustainable Disaster Tradition based on Scientific Evidence

研究代表者

佐藤 翔輔 (Sato, Shosuke)

東北大学・災害科学国際研究所・准教授

研究者番号:00614372

交付決定額(研究期間全体):(直接経費) 13,400,000円

研究成果の概要(和文):本研究は科学的エビデンスに基づいて,(1)災害伝承の事業・活動の効果を測定・評価する標準的方法として災害と共生する態度を評価する尺度(災害共生文化態度尺度)と利用者の事前・事後評価にもとづく災害伝承施設の類型化手法を開発し,(2)災害伝承の「担い手」人材育成の方法として,東日本大震災の被災地と東日本大震災以外の戦争を含む危機事象に関する伝承の担い手を育成・研修する活動の実態把握を通して.それにもとづく育成手法を提案し,(3)災害体験プロセス記録の活用方法として,学校教育のなかで地域の災害対応経験を継承する手法と行政職員が過去の災害対応に関する語り・記録を活用する研修プログラムを設計・実装した.

研究成果の学術的意義や社会的意義本研究における調査・実践を通して,(1)災害伝承の事業・活動の効果を測定・評価する標準的方法,(2)災害伝承の「担い手」人材育成の方法,(3)災害体験プロセス記録の活用方法が科学的エビデンスを根拠に開発されたことに学術的意義がある.(1)は利用者による施設利用前後の評価結果にもとづく災害伝承施設を類型化する手法が震災伝承ネットワーク協議会において,(2)は成果の一部が福島県伝承者育成プログラムにおいて,(3)は宮城県気仙沼市内の中学校の総合的な学習や東北県内における広域・基礎自治体の研修事業において,それぞれ活用されており,科学・学術が災害伝承を支えるという社会システムづくりに貢献した.

研究成果の概要(英文): Based on scientific evidence, (1) this study developed the Scale of Attitude toward Culture of Living with Disaster Risk (SAC-LDR) and a method for categorizing disaster tradition facilities as a standard method for evaluating the effects of projects and activities related to disaster tradition based on user evaluation, (2) we proposed a method of developing human resources who will carry on disaster traditions based on the current situation survey in affected areas of the 2011 Great East Japan Disaster and other past disasters including war, and (3) we designed and implemented a listening to narratives of survivor's disaster experience as inquiry based learning in school education and a training program in which government officials utilize narratives and records related to past disaster responses as a method of utilizing disaster experience process records.

研究分野: 災害伝承学

キーワード: 災害伝承 震災伝承 語り部 人材育成 行動変容 災害エスノグラフィー 震災学習 災害伝承施設

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等に ついては、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

1.研究開始当初の背景

東日本大震災の被災地をはじめ、被災した全国の各地では、災害で受けた被害や得た教訓を未来のいのちや全国の人々に伝えるための災害伝承(震災伝承)に関連する様々な事業・活動が行われている。例えば、東日本大震災の被災地では、岩手県、宮城県、福島県の沿岸を中心に震災遺構や展示施設の設置、語り部ガイドや学習プログラムが多く存在する(佐藤ら、2015;浅利・佐藤ら、2017)。

東日本大震災発生以降,以上に関連する災害伝承を対象とした実践的な研究は進展しつつも, 未だ多くの課題が残っていた.

実施されている災害伝承の効果の測定・評価:研究代表者は,東日本大震災以前の伝承が,東日本大震災発生時の人的被害の抑制(佐藤ら,2017a),避難行動の促進(佐藤ら,2017b),災害対応業務の円滑化(佐藤・今村,2018)に影響していたことを明らかにした.さらに,研究代表者はこのように意義・実績のある伝承活動について,東日本大震災の発生後に実施されている,ある一人の語り部を対象にした受け手への記憶の継続性(佐藤ら,2019)や仙台市の震災遺構が利用者に与える意識変化(門倉・佐藤ら,2019)を統計的に評価することを試みた.様々な災害伝承が「やりっぱなし」ではなく,効果を確保・維持するためには,災害伝承の活動の効果を評価・測定する標準的な効果測定手法は必須であるが,確立されていなかった.

災害伝承の「担い手」人材育成:災害伝承は語り部や被災地ガイドは主要な担い手になっているものの,それらの発掘や,若手人材の育成が進んでいないことが分かっている(佐藤,2019). 語り部などのプレイヤーについては岩手や福島の一部で徐々に育成が行われつつあるが,一方で企画・調整を行うコーディネーターの育成は行われていなかった(佐藤ら,2016).30年・50年・100年と災害伝承の活動を持続するためにも.災害伝承の「担い手」を育成する手法の確立が必須であった.

災害対応体験の記録活用:公的資料や写真は,そのアーカイブや利活用が充実化してきている(佐藤・今村,2017)ものの,行政職員や被災者の対応を「語り」として記録した体験プロセスの記録(オーラルヒストリー,災害エスノグラフィーとも呼ばれる)の活用は進んでいなかった.研究代表者らは,阪神・淡路大震災の経験をもとに作成された兵庫県職員が「語り」として残した記録が,東日本大震災における宮城県職員の実際の対応に効果をもたらしたことを実証的・理論的に明らかにしている(佐藤・今村,2018).貴重な体験記録が徐々に残されつつあるものの,このような「体験記録」「語り」の活用は定着していなかった.

2.研究の目的

科学的エビデンスに基づいた,効果的で持続的な災害伝承を実現することが本研究のミッションである.具体的には.災害伝承の事業・活動を担う行政・団体に,(1)災害伝承の活動・事業の効果を測定・評価する標準的方法,(2)災害伝承の「担い手」人材育成の方法,(3)災害体験プロセスの記録の活用方法を開発・提供・実装することによって実現する.本研究は,被災自治体や活動団体・個人といった,モデル対象への共同・介入によって進めていくものである.

3.研究の方法

災害伝承学習プログラムと災害伝承施設を対象に災害伝承の活動・事業の効果を測定・評価する標準的方法の確立を目指した.前者は,主に栗駒山麓ジオパークにおけるジオパーク学習を事例にして,災害共生文化態度尺度の設計・適用を行った.後者は,東日本大震災の被災地における災害伝承施設のすべてを対象にして,インターネット調査を通して利用履歴のあるモニターを対象にした評価結果をもとに施設の類型化を行った.

プレイヤー人材育成の事業が先行している広島県における被爆体験の伝承者(語り部)の養成研修の参与観察,東日本大震災の被災地である岩手県・宮城県・福島県の各活動団体の研修岩手県釜石市・福島県楢葉町を対象にした研修事例の調査,新潟県関川村における災害伝承活動を通した地域人材育成の事例調査を行った.

宮城県気仙沼市内の中学校における防災学習,東北自治研修所における大雨災害対応研修,仙台市における東日本大震災の職員間継承プログラムを事例に,設計・実装・評価・改善を行った.

4 . 研究成果

本研究は科学的エビデンスに基づいて,(1)災害伝承の事業・活動の効果を測定・評価する標準的方法として災害と共生する態度を評価する尺度(災害共生文化態度尺度) 1)と利用者の事前・事後評価にもとづく災害伝承施設の類型化手法 2) 3)を開発し,(2)災害伝承の「担い手」人材育成の方法として,東日本大震災の被災地と東日本大震災以外の戦争を含む危機事象に関する伝承の担い手を育成・研修する活動の実態把握 4)を通して.それにもとづく育成手法を提案し,(3)災害体験プロセス記録の活用方法として,学校教育のなかで地域の災害対応経験を継承する手法 5)と行政職員が過去の災害対応に関する語り・記録を活用する研修プログラム 6) 7)を設計・実装した.

【主な成果論文(査読付き論文)】

- 1) 佐藤翔輔: 災害とともに生きる文化に関する態度尺度の初期検討:「災害共生文化態度尺度」の開発に向けた適用分析と検証,地域安全学会論文集,No. 39,pp. 195-202,2021.
- 2) 渡邉勇, 佐藤翔輔, 今村文彦: 東日本大震災の震災伝承施設の実態把握と効果的な利活用の ための提案: 来訪者の目的と防災行動変容への効果に着目して,地域安全学会論文集,No. 39, pp. 267-277, 2021.
- 3)渡邉勇,佐藤翔輔,今村文彦:阪神・淡路大震災,新潟県中越地震,想定首都直下地震の先進事例と比較した東日本大震災の震災伝承施設の学習効果と有用性:利用者視点による災害 伝承ミュージアムの類型化による評価の試み,地域安全学会論文集,No. 41,pp. 83-93,2022.(地域安全学会論文奨励賞受賞)
- 4) Shosuke Sato, Masahiro Iwasaki: Learning from the Training for the Successors and Storytellers the Legacy of Atomic Bombing in Hiroshima City: Lessons for Disaster Storytellers, Journal of Disaster Research Vol. 16, No.2, pp. 216-223, doi: 10.20965/jdr.2021.p0216, 2021.
- 5) 佐藤翔輔:中学生が行う被災体験の聞き取り学習に関する分析:階上中学校における東日本 大震災を対象にした災害伝承の学習事例,地域安全学会論文集,No. 37,pp. 79-87,2020.
- 6) Shosuke Sato, Fumihiko Imamura: Evaluation of Listeners Reaction on the Storytelling of Disaster Response Experience: The Case of Service Continuity at Miyagi Prefectural Office After Experiencing the Great East Japan Earthquake, Journal of Disaster Research Vol. 16, No.2, pp. 263-273, doi: 10.20965/jdr.2021.p0263, 2021.
- 7) 佐藤翔輔:行政機関を越えて自治体職員の「語り」を活用する災害対応経験の伝承手法の設計と実践:東北地方公務員を対象にした風水害対応に関する研修事例,地域安全学会論文集, No. 41, pp. 285-294, 2022. (地域安全学会年間優秀論文賞)

5 . 主な発表論文等

「雑誌論文〕 計66件(うち査読付論文 17件/うち国際共著 0件/うちオープンアクセス 23件)

「無認論文」 計00件(フラ直読刊論文 17件/フラ国際共者 0件/フラオーノファクセス 23件)	
1 . 著者名 佐藤翔輔	4.巻 37
2 . 論文標題 中学生が行う被災体験の聞き取り学習に関する分析:階上中学校における東日本大震災を対象にした災害 伝承の学習事例	5 . 発行年 2020年
3.雑誌名 地域安全学会論文集	6.最初と最後の頁 79-87
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.11314/jisss.37.79	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
オープンディと人としている(また、この)をこのな)	<u>-</u>
1.著者名 新家杏奈,佐藤翔輔,今村文彦	4.巻 37
2.論文標題 思考変化と移動経路を組み合わせた津波避難行動過程の分析:東日本大震災大震災発生時の気仙沼市階上 地区の事例	5 . 発行年 2020年
3.雑誌名 地域安全学会論文集	6 . 最初と最後の頁 339-349
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11314/jisss.37.339	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1.著者名 門倉七海,佐藤翔輔,今村文彦	4 .巻 37
2 . 論文標題 発災から50年経過した水害被災地の記憶と備えの実態分析:1967年羽越水害をまつりで伝承する新潟県関 川村	5 . 発行年 2020年
3.雑誌名 地域安全学会論文集	6.最初と最後の頁 117-123
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.11314/jisss.37.117	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1. 著者名	4 . 巻
渡邉勇,佐藤翔輔,八木秀文.今村文彦	4 · 含 37
渡遠男,佐藤翔輔,八木秀又.学村又彦 2 . 論文標題 東日本大震災の教訓は伝わっているのか‐東北大学MOOC受講者を事例対象にした評価の試み‐	
2.論文標題	5 . 発行年
2.論文標題 東日本大震災の教訓は伝わっているのか・東北大学MOOC受講者を事例対象にした評価の試み・ 3.雑誌名	37 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁

1 . 著者名	4.巻
池田真幸,佐藤翔輔	37
2.論文標題	5 . 発行年
東日本大震災アーカイブの活用実態に関する調査分析	2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
地域安全学会論文集	219-226
	2.0 220
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
何申以前 又のDOT (デンタルオフシェクトind 加丁) 10.11314/jisss.37.219	直硫の行無 有
10.11314/J1888.3/.219	19
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
. +++/-	. 24
1. 著者名	4.巻
秋元康男,佐藤翔輔,紅谷昇平	37
2 . 論文標題	5.発行年
被災自治体の災害対応の課題・教訓を継承するための記録の作成及び訓練・研修の実施に関する実態把握	2020年
3. 雑誌名	6.最初と最後の頁
地域安全学会	279-288
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.11314/jisss.37.279	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国际共有
7 7777 EXECUTION (& /2. CO.) / (CO.)	
1 . 著者名	4 . 巻
田畑佳祐,佐藤翔輔,谷川亘,今村文彦	762
2	F 改仁左
2.論文標題 高知県における津波碑の分類体系の試みと建立実態の評価分析	5 . 発行年 2020年
同州宗にのける洋派神の万規仲永の武がこと立夫念の計画力和	2020-
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
土木学会論文集B2(海岸工学)	I_1261 - I_1266
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.2208/kaigan.76.2_I_1261	有
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	<u>-</u>
1 . 著者名	4.巻
佐藤翔輔	39-2
2.論文標題	5 . 発行年
1967年羽越水害の伝承手法としての「えちごせきかわ大したもん蛇まつり」の成立・継続・効果に関する制容・考察	2020年
<u>調査・考察</u> 3.雑誌名	 6.最初と最後の頁
自然災害科学	157-174
	-
旧 ##±△ ☆	本生の大畑
10.24/02/jilusj.39.2_15/	1月
オープンアクセス	国際共著
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.24762/jndsj.39.2_157	査読の有無 有

1. 著者名	4.巻
佐藤翔輔,今村文彦	50
	5.発行年
災害対応経験の「語り」に対する聞き手の評価:東日本大震災を経験した宮城県庁における継承事業「復	2021年
興10年総括検証」の事例	6 PARI P// 6 T
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
DRI調査研究レポート(「災害語り継ぎ」に関する研究論文集)	127-135
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンテラセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国际共有
3 7777 EXCOCVIO (&R.C. CO) (£ COO)	
1 . 著者名	4.巻
マリ エリザベス,山﨑麻里子,佐藤翔輔	50
2、50分析的	F 38/=/=
2 . 論文標題 ロオの災害ミュージアル・東ロオナ雲災発生前後の災害を行える施設の東例知察	5.発行年 2021年
日本の災害ミュージアム:東日本大震災発生前後の災害を伝える施設の事例観察	20214
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
DRI調査研究レポート(「災害語り継ぎ」に関する研究論文集)	21-29
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	<u></u> 査読の有無
	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1.著者名	4 . 巻
・・・ 日日日 ・・・ 日日日 日日日 ・・・ 日日日日 ・・・ 日日日 ・・・ 日日日 ・・・ 日日日 ・・・ 日日日 ・・・ 日日日 日日日 ・・ 日日日 ・・ 日日日 ・・ 日日日 ・・ 日日日 ・・ 日日日 日日日 ・・ 日日日 日日日日 日日日日 日日日日日日日日	9
Immedian 44 III	
2.論文標題	5.発行年
東日本大震災の被災地における震災語り部・被災地ガイドの年代・性別・空間分布	2020年
	6.最初と最後の頁
地域安全学会東日本大震災特別論文集	73-76
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
拘載論又のDOT(テンタルオフシェクト誠別士) なし	自航の有無 無
6 0	////
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1.著者名	4 . 巻
	4 · 含 9
ルスペンン(i 上uか/型TD (/ I J 入 I Z	
2 . 論文標題	5.発行年
東日本大震災にみられた個々の教訓に対する理解度特性 東北大学MOOC受講者を対象にした事例研究	2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
地域安全学会東日本大震災特別論文集	81-84
C WASHINGTON TO A STREET OF A	

掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	

1 . 著者名 柳谷理紗, 鈴木由美, 佐藤翔輔, 田中聡, 重川希志依 2 . 論文標題 自治体職員が行う災害エスノグラフィー調査・編集・活用のプロセスの確立: 仙台市役所職員による実践	A 英
2 . 論文標題 自治体職員が行う災害エスノグラフィー調査・編集・活用のプロセスの確立:仙台市役所職員による実践	4 . 巻
自治体職員が行う災害エスノグラフィー調査・編集・活用のプロセスの確立:仙台市役所職員による実践	9
自治体職員が行う災害エスノグラフィー調査・編集・活用のプロセスの確立:仙台市役所職員による実践	5 . 発行年
T UX T → T	
を踏まえて	C = 171 = 14 o =
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
地域安全学会東日本大震災特別論文集	31-34
掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)	 査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1.著者名	4 . 巻
重川希志依,佐竹悦子,佐藤翔輔	9
2.論文標題	5 . 発行年
みんなで伝えていかなきゃない - ゆりあげかもめの活動と今後の展開 -	2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
地域安全学会東日本大震災特別論文集	77-80
心观文工于公外日华八成大刊加顺入朱	17 00
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	
なし	無 無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国际共 省
1.著者名	4 . 巻
佐藤翔輔,岩崎雅宏	46
2.論文標題	5 . 発行年
広島市における被爆体験伝承者・被爆体験証言者養成研修の実態把握:災害体験伝承者の養成を見据えて	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
地域安全学会梗概集	61-64
心ベスエテム以地木	01-04
	 査読の有無
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	無
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	
なし	国際共著
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	国際共著 -
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	国際共著 - 4 . 巻 41
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 佐藤 翔輔	国際共著 -
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 佐藤 翔輔 2 . 論文標題 行政機関を越えて自治体職員の「語り」を活用する 災害対応経験の伝承手法の設計と実践: 3 . 雑誌名	国際共著 - 4.巻 41 5.発行年
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 佐藤 翔輔 2 . 論文標題 行政機関を越えて自治体職員の「語り」を活用する 災害対応経験の伝承手法の設計と実践:	国際共著 - 4 . 巻 41 5 . 発行年 2022年
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 佐藤 翔輔 2 . 論文標題 行政機関を越えて自治体職員の「語り」を活用する 災害対応経験の伝承手法の設計と実践: 3 . 雑誌名 地域安全学会論文集	国際共著 - 4 . 巻 41 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 285~294
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 佐藤 翔輔 2 . 論文標題 行政機関を越えて自治体職員の「語り」を活用する 災害対応経験の伝承手法の設計と実践: 3 . 雑誌名 地域安全学会論文集	国際共著 - 4 . 巻 41 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 285~294 - 査読の有無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 佐藤 翔輔 2 . 論文標題 行政機関を越えて自治体職員の「語り」を活用する 災害対応経験の伝承手法の設計と実践: 3 . 雑誌名 地域安全学会論文集	国際共著 - 4 . 巻 41 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 285~294
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 佐藤 翔輔 2 . 論文標題 行政機関を越えて自治体職員の「語り」を活用する 災害対応経験の伝承手法の設計と実践: 3 . 雑誌名 地域安全学会論文集	国際共著 - 4 . 巻 41 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 285~294 - 査読の有無

1.著者名	
	4 . 巻
渡邉 勇、佐藤 翔輔、今村 文彦	41
2	5.発行年
2. 論文標題	
阪神・淡路大震災,新潟県中越地震,想定首都直下地震の先進事例と比較した東日本大震災の震災伝承施 設の学習効果と有用性	2022年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
3.維誌名 地域安全学会論文集	り、
地域女王子云珊又集	83 ~ 93
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
10.11314/jisss.41.83	有
10.110111/11000111100	
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1 . 著者名	4 . 巻
川合 将矢、佐藤 翔輔、新家 杏奈、渡邉 勇、今村 文彦	41
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
2. 論文標題	5.発行年
津波災害時における車渋滞の抑制を目的とする基礎的研究:	2022年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
地域安全学会論文集	229 ~ 239
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.11314/jisss.41.229	有
	CO Chr. LL +++
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
4 5 7 6	4 74
1.著者名	4.巻
佐藤翔輔,田畑佳祐,今村文彦,向井正大,鮎川一史,有友春樹	78
2.論文標題	5.発行年
2 · 神文伝題 マイ・タイムラインリーダー養成講座における育成効果に関する実証的分析	3 . 光 11年 2022年
くれ・ブイムノイノサーブー食成調座にのける自成効素に関する夫証的力化	20224
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
土木学会論文集B1(水工学)	I_1021~I_1026
エハナム胴へ木川(ハエナ)	
エハテム胴へ未い(小上子)	1_10_1
	査読の有無
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.2208/jscejhe.78.2_I_1021	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.2208/jscejhe.78.2_I_1021 オープンアクセス	査読の有無有
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.2208/jscejhe.78.2_I_1021	査読の有無有
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.2208/jscejhe.78.2_I_1021 オープンアクセス	査読の有無有
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.2208/jscejhe.78.2_I_1021 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	査読の有無 有 国際共著
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.2208/jscejhe.78.2_I_1021 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.2208/jscejhe.78.2_I_1021 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名	査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.2208/jscejhe.78.2_I_1021 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 田畑佳祐,佐藤翔輔,今村文彦,向井正大,鮎川一史,有友春樹	査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 78
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.2208/jscejhe.78.2_I_1021 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 田畑佳祐,佐藤翔輔,今村文彦,向井正大,鮎川一史,有友春樹 2.論文標題 非専門家によるマイ・タイムライン講習会の可能性の検証:専門家講習による効果との比較	査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 78 5 . 発行年 2022年
掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.2208/jscejhe.78.2_I_1021 オープンアクセス	直読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 78 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁
掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.2208/jscejhe.78.2_I_1021 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 田畑佳祐,佐藤翔輔,今村文彦,向井正大,鮎川一史,有友春樹 2.論文標題 非専門家によるマイ・タイムライン講習会の可能性の検証:専門家講習による効果との比較	査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 78 5 . 発行年 2022年
掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.2208/jscejhe.78.2_I_1021 オープンアクセス	直読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 78 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.2208/jscejhe.78.2_I_1021 オープンアクセス	直読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 78 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 I_1027~I_1032
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.2208/jscejhe.78.2_I_1021 オープンアクセス	直読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 78 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 I_1027~I_1032
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.2208/jscejhe.78.2_I_1021 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 田畑佳祐,佐藤翔輔,今村文彦,向井正大,鮎川一史,有友春樹 2 . 論文標題 非専門家によるマイ・タイムライン講習会の可能性の検証:専門家講習による効果との比較 3 . 雑誌名 土木学会論文集B1(水工学)	直読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 78 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 I_1027~I_1032
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.2208/jscejhe.78.2_I_1021 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 田畑佳祐,佐藤翔輔,今村文彦,向井正大,鮎川一史,有友春樹 2.論文標題 非専門家によるマイ・タイムライン講習会の可能性の検証:専門家講習による効果との比較 3.雑誌名 土木学会論文集B1(水工学) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.2208/jscejhe.78.2_I_1027	直読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 78 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 I_1027~I_1032 査読の有無 有
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.2208/jscejhe.78.2_I_1021 オープンアクセス	直読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 78 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 I_1027~I_1032

1.著者名	4.巻
佐藤翔輔,藤田崇宏,遠藤匡範,岩崎雅宏,皆川満洋,高橋里佳,南城真佐英,渡邉勇,今村文彦	78
2. 論文標題	5 . 発行年
地震発生時間の違いがもたらす津波避難行動の実態事例:2つの地震における宮城県亘理町での比較分析	2022年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
土木学会論文集B2(海岸工学)	I_325~I_330
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.2208/kaigan.78.2_I_325	有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1.著者名	4.巻
成田峻之輔,佐藤翔輔,渡邉勇,新家杏奈,今村文彦	78
2.論文標題	5 . 発行年
東日本大震災の復興支援調査アーカイプで明らかにされた危険方向移動の実態と提案	2022年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
土木学会論文集B2(海岸工学)	I_361~I_366
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.2208/kaigan.78.2_I_361	有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1 . 著者名	4.巻
佐藤 翔輔	40
2 . 論文標題	5 . 発行年
東日本大震災10年の社会対応を3つの側面からふりかえる	2022年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
自然災害科学	405~419
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.24762/jndsj.40.4_405	有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1.著者名	4.巻
佐藤 翔輔	39
2 . 論文標題	5 . 発行年
災害とともに生きる文化に関する態度尺度の初期検討:	2021年
3.雑誌名 地域安全学会論文集	6.最初と最後の頁 195~202
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.11314/jisss.39.195	査読の有無無無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著

1.著者名	
	4 . 巻
門倉 七海、佐藤 翔輔、今村 文彦	39
2 . 論文標題	F 聚结
·····	5.発行年
地理的リスクや災害の記憶が長期間未災地域における住民の備えに及ぼす影響	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
地域安全学会論文集	21 ~ 28
他场头王于云岫入朱	21 20
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.11314/jisss.39.21	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	
オープンテクビへにはない、又はオープンテクビスが、四乗	-
	T
1.著者名	4 . 巻
渡邉 勇、佐藤 翔輔、今村 文彦	39
IAC ON ILLA (STILL) 13 AD	
2. 经分摊的	c ※行在
2. 論文標題	5.発行年
東日本大震災の震災伝承施設の実態把握と効果的な利活用のための提案:来訪者の目的と防災行動変容へ	2021年
の効果に着目して	
3,雑誌名	6.最初と最後の頁
地域安全学会論文集	267 ~ 277
でペスエナム順入木	201 211
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.11314/jisss.39.267	無
,	
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	
オーノンアン ピス こはない、 又はオーノンアン ピスか 四難	-
1.著者名	4 . 巻
田畑佳祐,佐藤翔輔,今村文彦,向井正大,鮎川一史,有友春樹	77
2.論文標題	5 . 発行年
····	
マイ・タイムライン講習会が受講者の避難行動に関する知識・態度に及ぼす効果の検証 地域防災リー	2021年
ダーを対象とした試みー	
ターを対象とした試みー 3.雑誌名	6.最初と最後の頁
3.雑誌名	
	6 . 最初と最後の頁 I_1489~I_1494
3.雑誌名	
3.雑誌名 土木学会論文集B1(水工学)	I_1489 ~ I_1494
3.雑誌名 土木学会論文集B1(水工学) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	I_1489~I_1494 査読の有無
3.雑誌名 土木学会論文集B1(水工学)	I_1489 ~ I_1494
3.雑誌名 土木学会論文集B1(水工学) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	I_1489~I_1494 査読の有無
3.雑誌名 土木学会論文集B1(水工学) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	I_1489~I_1494 査読の有無
3.雑誌名 土木学会論文集B1(水工学) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.2208/jscejhe.77.2_I_1489 オープンアクセス	I_1489~I_1494 査読の有無 無
3.雑誌名 土木学会論文集B1(水工学) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.2208/jscejhe.77.2_I_1489	I_1489~I_1494 査読の有無 無
3.雑誌名 土木学会論文集B1(水工学) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.2208/jscejhe.77.2_I_1489 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	I_1489 ~ I_1494 査読の有無 無 国際共著 -
3.雑誌名 土木学会論文集B1(水工学) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.2208/jscejhe.77.2_I_1489 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	I_1489~I_1494 査読の有無 無
3.雑誌名 土木学会論文集B1(水工学) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.2208/jscejhe.77.2_I_1489 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	I_1489 ~ I_1494 査読の有無 無 国際共著 -
3.雑誌名 土木学会論文集B1(水工学) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.2208/jscejhe.77.2_I_1489 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	I_1489 ~ I_1494 査読の有無 無 国際共著 -
3.雑誌名 土木学会論文集B1(水工学) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.2208/jscejhe.77.2_I_1489 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 川合将矢,佐藤翔輔,マス エリック,新家杏奈,今村文彦	I_1489~I_1494 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 -
3.雑誌名 土木学会論文集B1(水工学) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.2208/jscejhe.77.2_I_1489 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 川合将矢,佐藤翔輔,マス エリック,新家杏奈,今村文彦 2.論文標題	I_1489~I_1494 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年
3.雑誌名 土木学会論文集B1(水工学) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.2208/jscejhe.77.2_I_1489 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 川合将矢,佐藤翔輔,マス エリック,新家杏奈,今村文彦	I_1489~I_1494 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 -
3.雑誌名 土木学会論文集B1(水工学) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.2208/jscejhe.77.2_I_1489 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 川合将矢,佐藤翔輔,マスエリック,新家杏奈,今村文彦 2.論文標題 津波避難時の渋滞緩和のための徒歩避難促進手法の提案:宮城県石巻市における実践例	I_1489~I_1494 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2023年
3.雑誌名 土木学会論文集B1(水工学) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.2208/jscejhe.77.2_I_1489 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 川合将矢,佐藤翔輔,マス エリック,新家杏奈,今村文彦 2.論文標題	I_1489~I_1494 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年
3.雑誌名 土木学会論文集B1(水工学) 掲載論文のD01(デジタルオブジェクト識別子) 10.2208/jscejhe.77.2_I_1489 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 川合将矢,佐藤翔輔,マスエリック,新家杏奈,今村文彦 2.論文標題 津波避難時の渋滞緩和のための徒歩避難促進手法の提案:宮城県石巻市における実践例 3.雑誌名	I_1489~I_1494 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2023年
3 . 雑誌名 土木学会論文集B1 (水工学) 掲載論文のD01 (デジタルオブジェクト識別子) 10.2208/jscejhe.77.2_I_1489 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 川合将矢,佐藤翔輔,マス エリック,新家杏奈,今村文彦 2 . 論文標題 津波避難時の渋滞緩和のための徒歩避難促進手法の提案:宮城県石巻市における実践例	I_1489~I_1494 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2023年
3.雑誌名 土木学会論文集B1(水工学) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.2208/jscejhe.77.2_I_1489 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 川合将矢,佐藤翔輔,マスエリック,新家杏奈,今村文彦 2.論文標題 津波避難時の渋滞緩和のための徒歩避難促進手法の提案:宮城県石巻市における実践例 3.雑誌名	I_1489~I_1494 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2023年
3 . 雑誌名 土木学会論文集B1(水工学) 掲載論文のD01(デジタルオブジェクト識別子) 10.2208/jscejhe.77.2_I_1489 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 川合将矢,佐藤翔輔,マス エリック,新家杏奈,今村文彦 2 . 論文標題 津波避難時の渋滞緩和のための徒歩避難促進手法の提案:宮城県石巻市における実践例 3 . 雑誌名 令和4年度土木学会東北支部技術研究発表会講演概要集	I_1489~I_1494 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2023年 6 . 最初と最後の頁 -
3.雑誌名 土木学会論文集B1(水工学) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.2208/jscejhe.77.2_I_1489 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 川合将矢,佐藤翔輔,マス エリック,新家杏奈,今村文彦 2.論文標題 津波避難時の渋滞緩和のための徒歩避難促進手法の提案:宮城県石巻市における実践例 3.雑誌名 令和4年度土木学会東北支部技術研究発表会講演概要集	I_1489~I_1494 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2023年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無
3 . 雑誌名 土木学会論文集B1(水工学) 掲載論文のD01(デジタルオブジェクト識別子) 10.2208/jscejhe.77.2_I_1489 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 川合将矢,佐藤翔輔,マス エリック,新家杏奈,今村文彦 2 . 論文標題 津波避難時の渋滞緩和のための徒歩避難促進手法の提案:宮城県石巻市における実践例 3 . 雑誌名 令和4年度土木学会東北支部技術研究発表会講演概要集	I_1489~I_1494 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2023年 6 . 最初と最後の頁 -
3.雑誌名 土木学会論文集B1(水工学) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.2208/jscejhe.77.2_I_1489 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 川合将矢,佐藤翔輔,マス エリック,新家杏奈,今村文彦 2.論文標題 津波避難時の渋滞緩和のための徒歩避難促進手法の提案:宮城県石巻市における実践例 3.雑誌名 令和4年度土木学会東北支部技術研究発表会講演概要集	I_1489~I_1494 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2023年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無
3.雑誌名 土木学会論文集B1(水工学) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.2208/jscejhe.77.2_I_1489 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 川合将矢,佐藤翔輔,マス エリック,新家杏奈,今村文彦 2.論文標題 津波避難時の渋滞緩和のための徒歩避難促進手法の提案:宮城県石巻市における実践例 3.雑誌名 令和4年度土木学会東北支部技術研究発表会講演概要集	I_1489~I_1494 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2023年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無 無
3 . 雑誌名 土木学会論文集B1(水工学) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.2208/jscejhe.77.2_I_1489 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 川合将矢,佐藤翔輔,マス エリック,新家杏奈,今村文彦 2 . 論文標題 津波避難時の渋滞緩和のための徒歩避難促進手法の提案:宮城県石巻市における実践例 3 . 雑誌名 令和4年度土木学会東北支部技術研究発表会講演概要集 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	I_1489~I_1494 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2023年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無

***		. Mr.
2 . 論又信題	1 . 著者名	4 . 巻
	右不望,佐滕翔輔,波遏勇,今村又尨	-
	2 全个大师明	c
3		
一番報告	農災語り部プログラム「ツナミリアル」の効果快証に関する実験的研究	2022年
一番報告	3. 独註 夕	6 最初と最後の百
なし 無	マ州4牛皮上小子云米礼又即找削听九光农云舑决慨安朱	-
なし 無		
なし 無	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
オープンアクセス	なし	無
1. 著名名 佐藤湖輔。安田健志、津村湖士		••••
1 ・ 著名名 佐藤翔輔,安田健志 , 津村翔士 2 ・ 論文標語 直接的に防災と接点のないフィールドからアプローチする防災啓発の一形態:ヤフー防災機試を活用した ソナエルJupanHの事例研究 3 ・ 稿誌石 日本災害情報学会 第25回学会大会予稿集 6 ・ 最初と最後の頁 日本災害情報学会 第25回学会大会予稿集 8 ・	オープンアクセス	国際共著
在藤栩輔,安田健志,津村翔士	オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
在藤栩輔,安田健志,津村翔士		
2 . 論文標題	1.著者名	4 . 巻
直接的に防災と接点のないフィールドからアプローチする防災啓発の一形態:ヤフー防災模試を活用した ソナエルJapan杯の事例研究 3. 雑誌名 6. 最初と最後の頁 1 本 災害情報学会 第25回学会大会予稿集 6. 最初と最後の頁 2 本 ブンアクセス	佐藤翔輔,安田健志,津村翔士	-
直接的に防災と接点のないフィールドからアプローチする防災啓発の一形態:ヤフー防災模試を活用した ソナエルJapan杯の事例研究 3. 雑誌名 6. 最初と最後の頁 1 本 災害情報学会 第25回学会大会予稿集 6. 最初と最後の頁 2 本 ブンアクセス		
直接的に防災と接合のないフィールドからアプローチする防災啓発の一形態:ヤフー防災模試を活用した ソナエルJapan杯の事例研究 6.最初と最後の頁 6.最初と最後の頁 1 本災害情報学会 第25回学会大会予稿集 8.就論文の1001(デジタルオブジェクト識別子) 2 意読の有無 無 オープンアクセス 日際共著 2 生態の 2 ・論文標題 5・競行年 2022年 3 ・雑誌名 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 6・最初と最後の頁 169・170 2 意読の有無 無 オープンアクセス 1 国際共著 2 生態の 2 ・	2 . 論文標題	5 . 発行年
3 . 雑誌名 1 . 著名名 2 . 2 . 2 . 2 . 2 . 2 . 2 . 2 . 2 . 2	直接的に防災と接点のないフィールドからアプローチする防災啓発の一形態:ヤフー防災模試を活用した	
日本災害情報学会 第25回学会大会予稿集	ソナエルJapan杯の事例研究	
掲載論文の801 (デジタルオブジェクト識別子)	3.雑誌名	6.最初と最後の頁
# オープンアクセス	日本災害情報学会 第25回学会大会予稿集	-
# オープンアクセス		
# オープンアクセス		
オープンアクセス	掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難	なし	無
オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難		
1 . 著者名 佐藤翔輔 2 . 論文標題 吉田川流域の実態にみる「流域治水」概念に対する考察 3 . 雑誌名 第41回日本自然災害学会年次学術講演会講演概要集		国際共著
佐藤翔輔	オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
佐藤翔輔		
2 . 論文標題 吉田川流域の実態にみる「流域治水」概念に対する考察 5 . 発行年 2022年 3 . 雑誌名 第41回日本自然災害学会年次学術講演会講演概要集 6 . 最初と最後の頁 169-170 掲載論文の001(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 液 透勇, 佐藤翔輔, 今村文彦 4 . 巻 . 2 . 論文標題 マイ・タイムライン講習会の講習内容と受講者の学習効果・主観的有用性の関係:宮城県大郷町を事例として 3 . 雑誌名 第41回日本自然災害学会年次学術講演会講演概要集 5 . 発行年 2022年 調整論文の001(デジタルオプジェクト識別子) なし 6 . 最初と最後の頁 143-144 掲載論文の001(デジタルオプジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著		_
吉田川流域の実態にみる「流域治水」概念に対する考察 3 . 雑誌名 第41回日本自然災害学会年次学術講演会講演概要集 4 . 最初と最後の頁 169-170 「大きなし」を表現します。 第41回日本自然災害学会年次学術講演会講演概要集 1 . 著者名 渡邉勇,佐藤翔輔,今村文彦 2 . 論文標題 マイ・タイムライン講習会の講習内容と受講者の学習効果・主観的有用性の関係:宮城県大郷町を事例として 3 . 雑誌名 第41回日本自然災害学会年次学術講演会講演概要集 4 . 是 2022年 6 . 最初と最後の頁 143-144 「おきない。」 第41回日本自然災害学会年次学術講演会講演概要集 「おきない。」 第41回日本自然災害がある。 第41回日本自然による。 第41回日本自然によ	佐藤翔輔	-
吉田川流域の実態にみる「流域治水」概念に対する考察 3 . 雑誌名 第41回日本自然災害学会年次学術講演会講演概要集 4 . 最初と最後の頁 169-170 「大きなし」を表現します。 第41回日本自然災害学会年次学術講演会講演概要集 1 . 著者名 渡邉勇,佐藤翔輔,今村文彦 2 . 論文標題 マイ・タイムライン講習会の講習内容と受講者の学習効果・主観的有用性の関係:宮城県大郷町を事例として 3 . 雑誌名 第41回日本自然災害学会年次学術講演会講演概要集 4 . 是 2022年 6 . 最初と最後の頁 143-144 「おきない。」 第41回日本自然災害学会年次学術講演会講演概要集 「おきない。」 第41回日本自然災害がある。 第41回日本自然による。 第41回日本自然によ	A A A LIETT	= 7V./= h=
3 . 雑誌名 第41回日本自然災害学会年次学術講演会講演概要集		
第41回日本自然災害学会年次学術講演会講演概要集 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オーブンアクセス オーブンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 渡邊勇,佐藤翔輔,今村文彦 2. 論文標題 マイ・タイムライン講習会の講習内容と受講者の学習効果・主観的有用性の関係:宮城県大郷町を事例として 3. 雑誌名 第41回日本自然災害学会年次学術講演会講演概要集 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス 国際共著	舌田川流域の実態にみる「流域治水」概念に対する考察	2022年
第41回日本自然災害学会年次学術講演会講演概要集 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オーブンアクセス オーブンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 渡邊勇,佐藤翔輔,今村文彦 2. 論文標題 マイ・タイムライン講習会の講習内容と受講者の学習効果・主観的有用性の関係:宮城県大郷町を事例として 3. 雑誌名 第41回日本自然災害学会年次学術講演会講演概要集 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス 国際共著	0. 10-5-77	C 目初し目後の五
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし		
# 日際共著 オープンアクセス 国際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名 渡邉勇,佐藤翔輔,今村文彦 4 . 巻 - 2022年 2 . 論文標題 マイ・タイムライン講習会の講習内容と受講者の学習効果・主観的有用性の関係: 宮城県大郷町を事例とし 7 2022年 3 . 雑誌名 第41回日本自然災害学会年次学術講演会講演概要集 6 . 最初と最後の頁 143-144 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 重読の有無 無 コープンアクセス 国際共著	第41回日本目然災害子会年次字例請凍会講演慨要集	169-170
# 日際共著 オープンアクセス 国際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名 渡邉勇,佐藤翔輔,今村文彦 4 . 巻 - 2022年 2 . 論文標題 マイ・タイムライン講習会の講習内容と受講者の学習効果・主観的有用性の関係: 宮城県大郷町を事例とし 7 2022年 3 . 雑誌名 第41回日本自然災害学会年次学術講演会講演概要集 6 . 最初と最後の頁 143-144 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 重読の有無 無 コープンアクセス 国際共著		
# 日際共著 オープンアクセス 国際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名 渡邉勇,佐藤翔輔,今村文彦 4 . 巻 - 2022年 2 . 論文標題 マイ・タイムライン講習会の講習内容と受講者の学習効果・主観的有用性の関係: 宮城県大郷町を事例とし 7 2022年 3 . 雑誌名 第41回日本自然災害学会年次学術講演会講演概要集 6 . 最初と最後の頁 143-144 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 重読の有無 無 コープンアクセス 国際共著	坦載論☆のDOL(デジタルオブジェクト繰別子)	本誌の右無
オープンアクセス 国際共著 - 1 . 著者名 渡邉勇, 佐藤翔輔, 今村文彦 4 . 巻 2022年 2 . 論文標題 マイ・タイムライン講習会の講習内容と受講者の学習効果・主観的有用性の関係:宮城県大郷町を事例とし 5 . 発行年 2022年 7 3 . 雑誌名 第41回日本自然災害学会年次学術講演会講演概要集 6 . 最初と最後の頁 143-144 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし 無 国際共著		
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名 渡邉勇 , 佐藤翔輔 , 今村文彦 4 . 巻 - 2022年 5 . 発行年 マイ・タイムライン講習会の講習内容と受講者の学習効果・主観的有用性の関係: 宮城県大郷町を事例とし 2022年 6 . 最初と最後の頁 3 . 雑誌名 第41回日本自然災害学会年次学術講演会講演概要集 6 . 最初と最後の頁 143-144		////
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名 渡邉勇 , 佐藤翔輔 , 今村文彦 4 . 巻 - 2022年 5 . 発行年 マイ・タイムライン講習会の講習内容と受講者の学習効果・主観的有用性の関係: 宮城県大郷町を事例とし 2022年 6 . 最初と最後の頁 3 . 雑誌名 第41回日本自然災害学会年次学術講演会講演概要集 6 . 最初と最後の頁 143-144	4.U	
1 . 著者名 渡邉勇, 佐藤翔輔, 今村文彦 4 . 巻 - 2 . 論文標題 マイ・タイムライン講習会の講習内容と受講者の学習効果・主観的有用性の関係:宮城県大郷町を事例として 5 . 発行年 2022年 3 . 雑誌名 第41回日本自然災害学会年次学術講演会講演概要集 6 . 最初と最後の頁 143-144 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著		国際共著
渡邉勇, 佐藤翔輔, 今村文彦 2. 論文標題 マイ・タイムライン講習会の講習内容と受講者の学習効果・主観的有用性の関係: 宮城県大郷町を事例とし て 3. 雑誌名 第41回日本自然災害学会年次学術講演会講演概要集 「種類論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス 国際共著	オープンアクセス	国際共著
渡邉勇, 佐藤翔輔, 今村文彦 2. 論文標題 マイ・タイムライン講習会の講習内容と受講者の学習効果・主観的有用性の関係: 宮城県大郷町を事例とし て 3. 雑誌名 第41回日本自然災害学会年次学術講演会講演概要集 「種類論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス 国際共著	オープンアクセス	国際共著
2 . 論文標題 マイ・タイムライン講習会の講習内容と受講者の学習効果・主観的有用性の関係:宮城県大郷町を事例とし て 3 . 雑誌名 第41回日本自然災害学会年次学術講演会講演概要集 「43-144 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス 「国際共著	オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
マイ・タイムライン講習会の講習内容と受講者の学習効果・主観的有用性の関係:宮城県大郷町を事例として 2022年 3.雑誌名 6.最初と最後の頁 143-144 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	-
マイ・タイムライン講習会の講習内容と受講者の学習効果・主観的有用性の関係:宮城県大郷町を事例として 2022年 3.雑誌名 第41回日本自然災害学会年次学術講演会講演概要集 6.最初と最後の頁 143-144 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	-
て 3.雑誌名 第41回日本自然災害学会年次学術講演会講演概要集 6.最初と最後の頁 143-144 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス 国際共著	オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 渡邉勇,佐藤翔輔,今村文彦	- 4.巻 -
3.雑誌名 第41回日本自然災害学会年次学術講演会講演概要集 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 渡邉勇 , 佐藤翔輔 , 今村文彦 2 . 論文標題	- 4.巻 - 5.発行年
第41回日本自然災害学会年次学術講演会講演概要集 143-144 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 なし 無 国際共著	オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 渡邉勇, 佐藤翔輔, 今村文彦 2 . 論文標題 マイ・タイムライン講習会の講習内容と受講者の学習効果・主観的有用性の関係:宮城県大郷町を事例とし	- 4.巻 - 5.発行年
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無	オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 渡邉勇,佐藤翔輔,今村文彦 2 . 論文標題 マイ・タイムライン講習会の講習内容と受講者の学習効果・主観的有用性の関係:宮城県大郷町を事例として	- 4.巻 - 5.発行年 2022年
なし 無 オープンアクセス 国際共著	オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 渡邉勇,佐藤翔輔,今村文彦 2 . 論文標題 マイ・タイムライン講習会の講習内容と受講者の学習効果・主観的有用性の関係:宮城県大郷町を事例として 3 . 雑誌名	- 4 . 巻 - 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁
なし 無 オープンアクセス 国際共著	オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 渡邉勇 , 佐藤翔輔 , 今村文彦 2 . 論文標題 マイ・タイムライン講習会の講習内容と受講者の学習効果・主観的有用性の関係:宮城県大郷町を事例として 3 . 雑誌名	- 4 . 巻 - 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁
なし 無 オープンアクセス 国際共著	オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 渡邉勇 , 佐藤翔輔 , 今村文彦 2 . 論文標題 マイ・タイムライン講習会の講習内容と受講者の学習効果・主観的有用性の関係:宮城県大郷町を事例として 3 . 雑誌名	- 4 . 巻 - 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス 国際共著	オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 渡邉勇,佐藤翔輔,今村文彦 2 . 論文標題 マイ・タイムライン講習会の講習内容と受講者の学習効果・主観的有用性の関係:宮城県大郷町を事例として 3 . 雑誌名 第41回日本自然災害学会年次学術講演会講演概要集	- 4 . 巻 - 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 143-144
	オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 渡邉勇,佐藤翔輔,今村文彦 2 . 論文標題 マイ・タイムライン講習会の講習内容と受講者の学習効果・主観的有用性の関係:宮城県大郷町を事例として 3 . 雑誌名 第41回日本自然災害学会年次学術講演会講演概要集	- 4 . 巻 - 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 143-144 査読の有無
	オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 渡邉勇 , 佐藤翔輔 , 今村文彦 2 . 論文標題 マイ・タイムライン講習会の講習内容と受講者の学習効果・主観的有用性の関係: 宮城県大郷町を事例として 3 . 雑誌名 第41回日本自然災害学会年次学術講演会講演概要集	- 4 . 巻 - 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 143-144 査読の有無
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 -	オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 渡邉勇,佐藤翔輔,今村文彦 2 . 論文標題 マイ・タイムライン講習会の講習内容と受講者の学習効果・主観的有用性の関係:宮城県大郷町を事例として 3 . 雑誌名 第41回日本自然災害学会年次学術講演会講演概要集	- 4 . 巻 - 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 143-144 査読の有無

1.著者名 若木望,佐藤翔輔,渡邉勇,今村文彦	4.巻
也小主,在成功带,IX是另, /11入/2	
2 . 論文標題	5 . 発行年
語り部学習におけるオンライン学習形式と対面形式の比較 - 時短型・災害疑似体験プログラム「ツナミリ	2022年
アル」の事例 - 3 . 雑誌名	6 早知ト見後の百
3 · 辩苾石 第41回日本自然災害学会年次学術講演会講演概要集	6 . 最初と最後の頁 59-69
为41四口平日然火舌子云牛从于附碑,供云碑,供佩安朱	39-09
	The hate on the first
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 英字々	4 . 巻
1.著者名 佐藤翔輔	4.含 11
(工 <i>IIS</i>	''
2.論文標題	5 . 発行年
ハザード種を越えて災害対応の経験知を発揮できるか:宮城県庁における2011年東日本大震災と2019年台	2022年
風19号の対応事例 3.雑誌名	6.最初と最後の頁
3.維認名 地域安全学会東日本大震災特別論文集	り、取例と取復の貝 57-60
心场文主于云木口华八辰灰行劢酬入朱	37-00
	* + 0 + 47
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
1.看有有 秋元康男,前川啓佑,芳賀洋介,髙橋義宏,佐藤翔輔	4 . 술 11
1人儿像为,时川日日,万县什儿,同间我么,仁彦利州	
2.論文標題	5 . 発行年
宮城県気仙沼市における震災の教訓等を伝承する職員研修の実践	2022年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
地域安全学会東日本大震災特別論文集	33-38
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	木芸の左無
掲載論又のDOT(デンダルオフシェクト誠別士) なし	査読の有無 無
' & ∪	***
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
中川政治,佐藤翔輔	4 . 술 11
1 () Extra Leaves (2) III	
2 . 論文標題	5 . 発行年
石巻南浜復興祈念公園の検討プロセスと市民参画・協働の取り組み	2022年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
地域安全学会東日本大震災特別論文集	39-44
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	本性の方無
匈戦・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	査読の有無 無
to 1.	
なし	***
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著

1.著者名	4 . 巻
浅利満理子,中川政治,佐藤翔輔	11
/之小可之主 」,「「小中人八口,「上方米万切干出	
2 . 論文標題	5.発行年
コロナ禍における東日本大震災被災3県の伝承活動の変化と今後の展望	2022年
コロン同にの170米日平八成八版人の大の私が旧動の文目に「人民の成立	2022
. 1941 (9	6 8471 8/4 8 5
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
地域安全学会東日本大震災特別論文集	45-48
	10 10
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
40	////
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	_
カープンテクビへにはない。 人はカープンテクビへが回転	
1.著者名	4 . 巻
渡邊勇,佐藤翔輔,今村文彦	11
反草男,性膝が細,う性又診	''
2.論文標題	5 . 発行年
来訪者の防災力に応じた効果的な被災地訪問学習:東日本大震災を事例とした初期検討	2022年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
地域安全学会東日本大震災特別論文集	53-56
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
	国际六名
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
—	_
佐藤翔輔,大須武則,黒澤健一	50
2 . 論文標題	5.発行年
·····	
語り部学習を活用した時短型・災害疑似体験学習プログラム「ツナミリアル」の開発と試行	2022年
2. 사람	6.最初と最後の頁
3.雑誌名	
語り部学習を活用した時短型・災害疑似体験学習プログラム「ツナミリアル」の開発と試行	225-228
In which is a second of the se	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
	,
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
The second secon	
. ***	
1.著者名	4 . 巻
渡邉勇,佐藤翔輔,今村文彦	50
a AA-LIEUT	= 7V./= hz
2.論文標題	5 . 発行年
発災10年間にみる被災地来訪者の「期待」の推移:東日本大震災被災地における震災学習への関心	2022年
0. 1844.67	C = 111 = 14 = 7
/ /WL=+3/	6.最初と最後の頁
3.雑誌名	
	229-232
3.維認石 地域安全学会梗概	229-232
	229-232
地域安全学会梗概	
	229-232
地域安全学会梗概 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
地域安全学会梗概	
地域安全学会梗概 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無無
地域安全学会梗概 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無無
地域安全学会梗概 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	査読の有無
地域安全学会梗概 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無無

1. 著者名	4.巻
浅利満理子,中川政治,佐藤翔輔 	50
2.論文標題 震災伝承の「担い手」研修と活動評価に関する実態把握・東日本大震災被災地:岩手・宮城・福島の3県を 対象に・	5 . 発行年 2022年
3.雑誌名 地域安全学会梗概集	6.最初と最後の頁 233-234
也以女主子云仗似朱	255-254
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし 	無
「オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
│ 1 .著者名 │ 竹順哉,岩垣津信太朗,石塚隆之,石井雄司,杓子尾駿,植竹香織,上田啓瑚,松尾紀明,多田明世、森 │ 下美穂,佐藤翔輔	4.巻 50
2 . 論文標題 アフターファイブにおける災害対応ステークホルダーの「顔が見える」関係構築とその効果~よんなな防 災会がつなげる防災の輪~	5 . 発行年 2022年
3.雑誌名 地域安全学会梗概集	6.最初と最後の頁 257-260
· 地域女主子云使做亲	257-260
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
	1 W
1 . 著者名 新家杏奈,佐藤翔輔,今村文彦 	4.巻 <u>-</u>
2 . 論文標題 津波避難行動詳細インタビューによる生きる力の長期的な変化	5 . 発行年 2022年
3.雑誌名 今和3年度土木学会東北支部技術研究発表会議演概要集	6.最初と最後の頁
マ和3年及上小子云泉礼又即找例研九光农云酶决慨安集	-
 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
なし	無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名	4 . 巻
渡邉勇,佐藤翔輔,今村文彦	-
2 . 論文標題	5 . 発行年
東日本大震災を事例とした傾向スコア法を用いた被災地訪問学習の効果分析 	2022年
3.雑誌名 令和3年度土木学会東北支部技術研究発表会講演概要集	6.最初と最後の頁
	本芸の左伽
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著

1 . 著者名	4 . 巻
田畑佳祐,佐藤翔輔,今村文彦	-
2.論文標題	5 . 発行年
学生主催のマイ・タイムライン講習会の実施と効果	2022年
3 . 雑誌名	6 . 最初と最後の頁
令和3年度土木学会東北支部技術研究発表会講演概要集	-
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
成田峻之輔,佐藤翔輔,今村文彦,渡邉勇,田畑佳祐	-
2.論文標題	5 . 発行年
東日本大震災の復興支援調査アーカイブにみられる危険方向移動者の特性	2022年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
令和3年度土木学会東北支部技術研究発表会講演概要集	-
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	4 . 巻
藤田崇宏,佐藤翔輔,今村文彦,渡邉勇	-
2 . 論文標題	5.発行年
異なる時間帯に発生した津波避難行動の検討:2016年福島県沖地震と2021年宮城県沖地震の事例	2022年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
令和3年度土木学会東北支部技術研究発表会講演概要集	-
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
なし	無 無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
佐藤翔輔,遠藤匡範,辻岡綾,立木茂雄	49
2 . 論文標題	5 . 発行年
「抜き打ち」型で実践した自治体の災害対応初動訓練の評価:亘理町における2回の実践から	2021年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
地域安全学会梗概集	67-68
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-

1 . 著者名	4 . 巻
岩崎雅宏,皆川満洋,佐藤翔輔,今村文彦	49
2 . 論文標題	5.発行年
防災分野での国際標準化に関する意識の現状	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
- 1 7 - 1 - 1	
地域安全学会梗概集	19-22
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
·	
なし	無
オープンアクセス	国際共著
· · · · · · -· ·	国际共有
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
	_
川合将矢,新家杏奈,佐藤翔輔,今村文彦	49
2. 经分摊的	c
2 . 論文標題	5 . 発行年
ミリング行動に着目した津波避難行動の特徴に関する研究:津波避難行動詳細インタビューを用いた名取	2021年
市閖上地区における分析	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
地域安全学会梗概集	81-84
	++
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
4 •	All Control of the Co
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	. 7/
1.著者名	4 . 巻
佐藤翔輔	-
12.00/33710	
a AA-LEDE	= 7v./= b=
2.論文標題	5.発行年
若者の「防災観」に関する一考察	2021年
2 18:4-67	6 目切し目後の百
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
第40回日本自然災害学会年次学術講演会講演概要集	135-136
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
なし	無
オープンアクセス	無
なし	無
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	無
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	国際共著
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 新家杏奈,佐藤翔輔,今村文彦	無 国際共著 - 4.巻 -
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	国際共著
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 新家杏奈,佐藤翔輔,今村文彦 2 . 論文標題	無 国際共著 - 4.巻 - 5.発行年
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 新家杏奈,佐藤翔輔,今村文彦	無 国際共著 - 4.巻 -
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 新家杏奈 , 佐藤翔輔 , 今村文彦 2 . 論文標題 中学生による津波避難行動詳細インタビュー調査手法の聞き取り効果に関する分析の試み	無 国際共著 - 4.巻 - 5.発行年 2021年
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 新家杏奈,佐藤翔輔,今村文彦 2 . 論文標題	無 国際共著 - 4.巻 - 5.発行年
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 新家杏奈,佐藤翔輔,今村文彦 2 . 論文標題 中学生による津波避難行動詳細インタビュー調査手法の聞き取り効果に関する分析の試み 3 . 雑誌名	無 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 新家杏奈 , 佐藤翔輔 , 今村文彦 2 . 論文標題 中学生による津波避難行動詳細インタビュー調査手法の聞き取り効果に関する分析の試み	無 国際共著 - 4.巻 - 5.発行年 2021年
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 新家杏奈,佐藤翔輔,今村文彦 2 . 論文標題 中学生による津波避難行動詳細インタビュー調査手法の聞き取り効果に関する分析の試み 3 . 雑誌名	無 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 新家杏奈 , 佐藤翔輔 , 今村文彦 2 . 論文標題 中学生による津波避難行動詳細インタビュー調査手法の聞き取り効果に関する分析の試み 3 . 雑誌名 第40回日本自然災害学会年次学術講演会講演概要集	無 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 27-28
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 新家杏奈 , 佐藤翔輔 , 今村文彦 2 . 論文標題 中学生による津波避難行動詳細インタビュー調査手法の聞き取り効果に関する分析の試み 3 . 雑誌名 第40回日本自然災害学会年次学術講演会講演概要集	無 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 新家杏奈,佐藤翔輔,今村文彦 2 . 論文標題 中学生による津波避難行動詳細インタビュー調査手法の聞き取り効果に関する分析の試み 3 . 雑誌名 第40回日本自然災害学会年次学術講演会講演概要集	無 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 27-28
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 新家杏奈 , 佐藤翔輔 , 今村文彦 2 . 論文標題 中学生による津波避難行動詳細インタビュー調査手法の聞き取り効果に関する分析の試み 3 . 雑誌名 第40回日本自然災害学会年次学術講演会講演概要集	無 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 27-28
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 新家杏奈, 佐藤翔輔, 今村文彦 2 . 論文標題 中学生による津波避難行動詳細インタビュー調査手法の聞き取り効果に関する分析の試み 3 . 雑誌名 第40回日本自然災害学会年次学術講演会講演概要集	無 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 27-28
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 新家杏奈, 佐藤翔輔, 今村文彦 2 . 論文標題 中学生による津波避難行動詳細インタビュー調査手法の聞き取り効果に関する分析の試み 3 . 雑誌名 第40回日本自然災害学会年次学術講演会講演概要集	無 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 27-28
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 新家杏奈,佐藤翔輔,今村文彦 2 . 論文標題 中学生による津波避難行動詳細インタビュー調査手法の聞き取り効果に関する分析の試み 3 . 雑誌名 第40回日本自然災害学会年次学術講演会講演概要集	無 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 27-28

1 . 著者名	4.巻
渡邉勇,佐藤翔輔,今村文彦	-
2 . 論文標題	5 . 発行年
2. 調文保超 東日本大震災の被災地訪問学習が災害時の「生きる力」に与える効果	2021年
ネロヤハ液火VIX人で助り丁目12 人自时V2 エロシノコ につん V2 以木	2021 T
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
第40回日本自然災害学会年次学術講演会講演概要集	43-44
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国际六有 -
カープラック これではない、人はカープラック これが 出共	
1.著者名	4 . 巻
会木由美,柳谷理沙,佐藤翔輔,田中聡,重川希志依	10
2.論文標題	5 . 発行年
Team Sendai (チームセンダイ)による被災自治体職員の災害対応の継承に関する研究~その3:朗読の作	2021年
成プロセスに着目して	
3. 雑誌名	6.最初と最後の頁
地域安全学会東日本大震災特別論文集	43-46
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無無
· • · · ·	77.7
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
柳谷理沙,鈴木由美,佐藤翔輔,田中聡,重川希志依	10
2	F 發仁在
2.論文標題 自治体職員が行う災害エスノグラフィー調査・編集・活用のプロセスの確立:仙台市職員間伝承プログラ	5 . 発行年
自治体験員が付う災害エスノグラフィー調査・編集・活用のフロセスの確立:個台中職員商伝承フログラ ムの開発	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
地域安全学会東日本大震災特別論文集	47-50
Prism 17 305751377300757515	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
ナープンファトフ	
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 菜 2 夕	4 . 巻
1.著者名 渡邉勇,佐藤翔輔,今村文彦	4 . 含 10
IX 电光,红烁791带,7 们 X IS	10
2 . 論文標題	5.発行年
東日本大震災の震災伝承施設の利用者の訪問パターンと防災行動変容への効果	2021年
THE RESIDENCE OF THE PROPERTY	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
地域安全学会東日本大震災特別論文集	59-64
	*+**
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	当际六 名
カーノンナフ ヒヘ にはない、 入はカーノフナフ ヒヘか 凶無	-

1.著者名	4 . 巻
中川政治,佐藤翔輔,浅利満理子	10
THEATH TERMINE TO THE T	
	F 36/-/-
2 . 論文標題	5 . 発行年
東日本大震災発災10年後の伝承活動の現状と復興原則や提言の実現度調査	2021年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
地域安全学会東日本大震災特別論文集	65-70
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	#
<i>A</i> 0	////
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	<u> </u>
1 . 著者名	4 . 巻
佐藤翔輔,中川政治,藤間千尋,伊藤聖子,福田貴史	48
2.論文標題	5 . 発行年
こ・調べる場合 震災伝承の「担い手」育成と連携を目指した研修の試み:宮城県震災伝承活動推進研修の事例	2021年
辰火囚承の だいナ」月成と住伤で日拍した所修り訊の、名城宗辰火囚承泊動推進所修り事例	ZUZ I '
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
地域安全学会梗概集	27-30
	+++-+
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
	国际八 有
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
—	4.巻
1.著者名 新家杏奈,佐藤翔輔,今村文彦	4. 巻 48
新家杏奈,佐藤翔輔,今村文彦	48
新家杏奈,佐藤翔輔,今村文彦 2.論文標題	5 . 発行年
新家杏奈,佐藤翔輔,今村文彦	48
新家杏奈,佐藤翔輔,今村文彦 2.論文標題	5 . 発行年
新家杏奈,佐藤翔輔,今村文彦 2.論文標題 中学生による津波避難行動に焦点を当てた探求学習のアウトプットの分析:気仙沼市立鹿折中学校の事例	5.発行年 2021年
新家杏奈,佐藤翔輔,今村文彦 2.論文標題 中学生による津波避難行動に焦点を当てた探求学習のアウトプットの分析:気仙沼市立鹿折中学校の事例 3.雑誌名	48 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
新家杏奈,佐藤翔輔,今村文彦 2.論文標題 中学生による津波避難行動に焦点を当てた探求学習のアウトプットの分析:気仙沼市立鹿折中学校の事例	5.発行年 2021年
新家杏奈,佐藤翔輔,今村文彦 2.論文標題 中学生による津波避難行動に焦点を当てた探求学習のアウトプットの分析:気仙沼市立鹿折中学校の事例 3.雑誌名	48 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
新家杏奈,佐藤翔輔,今村文彦 2.論文標題 中学生による津波避難行動に焦点を当てた探求学習のアウトプットの分析:気仙沼市立鹿折中学校の事例 3.雑誌名 地域安全学会梗概集	48 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
新家杏奈,佐藤翔輔,今村文彦 2.論文標題 中学生による津波避難行動に焦点を当てた探求学習のアウトプットの分析:気仙沼市立鹿折中学校の事例 3.雑誌名 地域安全学会梗概集	48 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 59-60
新家杏奈,佐藤翔輔,今村文彦 2.論文標題 中学生による津波避難行動に焦点を当てた探求学習のアウトプットの分析:気仙沼市立鹿折中学校の事例 3.雑誌名 地域安全学会梗概集 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	48 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 59-60 査読の有無
新家杏奈,佐藤翔輔,今村文彦 2.論文標題 中学生による津波避難行動に焦点を当てた探求学習のアウトプットの分析:気仙沼市立鹿折中学校の事例 3.雑誌名 地域安全学会梗概集	48 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 59-60
新家杏奈,佐藤翔輔,今村文彦 2.論文標題 中学生による津波避難行動に焦点を当てた探求学習のアウトプットの分析:気仙沼市立鹿折中学校の事例 3.雑誌名 地域安全学会梗概集 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	48 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 59-60 査読の有無 無
新家杏奈,佐藤翔輔,今村文彦 2.論文標題 中学生による津波避難行動に焦点を当てた探求学習のアウトプットの分析:気仙沼市立鹿折中学校の事例 3.雑誌名 地域安全学会梗概集 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	48 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 59-60 査読の有無
新家杏奈,佐藤翔輔,今村文彦 2.論文標題 中学生による津波避難行動に焦点を当てた探求学習のアウトプットの分析:気仙沼市立鹿折中学校の事例 3.雑誌名 地域安全学会梗概集 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	48 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 59-60 査読の有無 無
新家杏奈,佐藤翔輔,今村文彦 2.論文標題 中学生による津波避難行動に焦点を当てた探求学習のアウトプットの分析:気仙沼市立鹿折中学校の事例 3.雑誌名 地域安全学会梗概集 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	48 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 59-60 査読の有無 無
新家杏奈,佐藤翔輔,今村文彦 2.論文標題 中学生による津波避難行動に焦点を当てた探求学習のアウトブットの分析:気仙沼市立鹿折中学校の事例 3.雑誌名 地域安全学会梗概集 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	48 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 59-60 査読の有無 無 国際共著
新家杏奈,佐藤翔輔,今村文彦 2.論文標題 中学生による津波避難行動に焦点を当てた探求学習のアウトプットの分析:気仙沼市立鹿折中学校の事例 3.雑誌名 地域安全学会梗概集 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	48 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 59-60 査読の有無 無 国際共著
新家杏奈,佐藤翔輔,今村文彦 2.論文標題 中学生による津波避難行動に焦点を当てた探求学習のアウトプットの分析:気仙沼市立鹿折中学校の事例 3.雑誌名 地域安全学会梗概集 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	48 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 59-60 査読の有無 無 国際共著
新家杏奈,佐藤翔輔,今村文彦 2.論文標題 中学生による津波避難行動に焦点を当てた探求学習のアウトプットの分析:気仙沼市立鹿折中学校の事例 3.雑誌名 地域安全学会梗概集 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	48 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 59-60 査読の有無 無 国際共著
新家杏奈,佐藤翔輔,今村文彦 2.論文標題 中学生による津波避難行動に焦点を当てた探求学習のアウトプットの分析:気仙沼市立鹿折中学校の事例 3.雑誌名 地域安全学会梗概集 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 渡邊勇,佐藤翔輔,今村文彦	48 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 59-60 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 48
新家杏奈,佐藤翔輔,今村文彦 2.論文標題 中学生による津波避難行動に焦点を当てた探求学習のアウトプットの分析:気仙沼市立鹿折中学校の事例 3.雑誌名 地域安全学会梗概集 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 1.著者名 渡邉勇,佐藤翔輔,今村文彦 2.論文標題	48 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 59-60 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 48 5.発行年
新家杏奈,佐藤翔輔,今村文彦 2.論文標題 中学生による津波避難行動に焦点を当てた探求学習のアウトプットの分析:気仙沼市立鹿折中学校の事例 3.雑誌名 地域安全学会梗概集 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 渡邊勇,佐藤翔輔,今村文彦	48 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 59-60 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 48
新家杏奈, 佐藤翔輔, 今村文彦 2. 論文標題 中学生による津波避難行動に焦点を当てた探求学習のアウトプットの分析: 気仙沼市立鹿折中学校の事例 3. 雑誌名 地域安全学会梗概集 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 渡邉勇, 佐藤翔輔, 今村文彦 2. 論文標題 東日本大震災の震災伝承施設への支払意思額と施設での学習・体験内容の関連分析	48 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 59-60 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 48 5.発行年 2021年
新家杏奈,佐藤翔輔,今村文彦 2.論文標題 中学生による津波避難行動に焦点を当てた探求学習のアウトプットの分析:気仙沼市立鹿折中学校の事例 3.雑誌名 地域安全学会梗概集 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 1.著者名 渡邉勇,佐藤翔輔,今村文彦 2.論文標題	48 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 59-60 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 48
新家杏奈, 佐藤翔輔, 今村文彦 2. 論文標題 中学生による津波避難行動に焦点を当てた探求学習のアウトプットの分析: 気仙沼市立鹿折中学校の事例 3. 雑誌名 地域安全学会梗概集 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 渡邉勇, 佐藤翔輔, 今村文彦 2. 論文標題 東日本大震災の震災伝承施設への支払意思額と施設での学習・体験内容の関連分析 3. 雑誌名	48 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 59-60 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 48 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁
新家杏奈,佐藤翔輔,今村文彦 2. 論文標題 中学生による津波避難行動に焦点を当てた探求学習のアウトプットの分析:気仙沼市立鹿折中学校の事例 3. 雑誌名 地域安全学会梗概集 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 渡邉勇,佐藤翔輔,今村文彦 2. 論文標題 東日本大震災の震災伝承施設への支払意思額と施設での学習・体験内容の関連分析	48 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 59-60 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 48 5.発行年 2021年
新家杏奈, 佐藤翔輔, 今村文彦 2. 論文標題 中学生による津波避難行動に焦点を当てた探求学習のアウトプットの分析: 気仙沼市立鹿折中学校の事例 3. 雑誌名 地域安全学会梗概集 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 渡邉勇, 佐藤翔輔, 今村文彦 2. 論文標題 東日本大震災の震災伝承施設への支払意思額と施設での学習・体験内容の関連分析 3. 雑誌名	48 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 59-60 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 48 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁
新家杏奈,佐藤翔輔,今村文彦 2.論文標題 中学生による津波避難行動に焦点を当てた探求学習のアウトプットの分析:気仙沼市立鹿折中学校の事例 3.雑誌名 地域安全学会梗概集 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 渡邉勇,佐藤翔輔,今村文彦 2.論文標題 東日本大震災の震災伝承施設への支払意思額と施設での学習・体験内容の関連分析 3.雑誌名 地域安全学会梗概集	48 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 59-60 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 48 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 39-40
新家杏奈, 佐藤翔輔, 今村文彦 2. 論文標題 中学生による津波避難行動に焦点を当てた探求学習のアウトプットの分析: 気仙沼市立鹿折中学校の事例 3. 雑誌名 地域安全学会梗概集 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 渡邉勇, 佐藤翔輔, 今村文彦 2. 論文標題 東日本大震災の震災伝承施設への支払意思額と施設での学習・体験内容の関連分析 3. 雑誌名	48 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 59-60 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 48 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁
新家杏奈,佐藤翔輔,今村文彦 2.論文標題 中学生による津波避難行動に焦点を当てた探求学習のアウトブットの分析:気仙沼市立鹿折中学校の事例 3.雑誌名 地域安全学会梗概集 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 渡邉勇,佐藤翔輔,今村文彦 2.論文標題 東日本大震災の震災伝承施設への支払意思額と施設での学習・体験内容の関連分析 3.雑誌名 地域安全学会梗概集	48 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 59-60 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 48 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 39-40
新家杏奈, 佐藤翔輔, 今村文彦 2. 論文標題 中学生による津波避難行動に焦点を当てた探求学習のアウトプットの分析: 気仙沼市立鹿折中学校の事例 3. 雑誌名 地域安全学会梗概集 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 渡邊勇, 佐藤翔輔, 今村文彦 2. 論文標題 東日本大震災の震災伝承施設への支払意思額と施設での学習・体験内容の関連分析 3. 雑誌名 地域安全学会梗概集 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	48 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 59-60 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 48 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 39-40 査読の有無
新家杏奈, 佐藤翔輔, 今村文彦 2.論文標題 中学生による津波避難行動に焦点を当てた探求学習のアウトプットの分析: 気仙沼市立鹿折中学校の事例 3.雑誌名 地域安全学会梗概集 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 渡邉勇, 佐藤翔輔, 今村文彦 2.論文標題 東日本大震災の震災伝承施設への支払意思額と施設での学習・体験内容の関連分析 3.雑誌名 地域安全学会梗概集 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	48 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 59-60 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 48 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 39-40 査読の有無 無
	48 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 59-60 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 48 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 39-40 査読の有無
 新家杏奈,佐藤翔輔,今村文彦 2.論文標題 中学生による津波避難行動に焦点を当てた探求学習のアウトプットの分析:気仙沼市立鹿折中学校の事例 3.雑誌名 地域安全学会梗概集 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 渡邊勇,佐藤翔輔,今村文彦 2.論文標題 東日本大震災の震災伝承施設への支払意思額と施設での学習・体験内容の関連分析 3.雑誌名 地域安全学会梗概集 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし 	48 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 59-60 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 48 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 39-40 査読の有無 無

1 . 著者名	4 . 巻
秋元康男,佐藤翔輔	48
2.論文標題	5 . 発行年
2 · 調又信題 発災から25年経過した災害対応の経験・教訓の継承に関する実態分析 - 阪神・淡路大震災の被災自治体を	2021年 2021年
・	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
地域安全学会梗概集	0. 取切と取扱の員 31-32
地域女王子云使似朱	31-32
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
,	
1.著者名	4 . 巻
門倉七海,佐藤翔輔,今村文彦	-
2.論文標題	5 . 発行年
大規模水害発生から50年経過した被災地での記憶や備えに及ぼす影響要因に関する研究:新潟県関川村の	2021年
事例	•
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日本災害情報学会若手研究発表大会予稿集	14-15
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	. 7/
1 . 著者名	4 . 巻
佐藤翔輔	-
2.論文標題	5 . 発行年
	2021年 2021年
令和元年東日本台風と令和2年7月豪雨における「犠牲者ゼロ」地域の共通点と課題	20214
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
第39回日本自然災害学会年次学術講演会講演概要集	85-86
为00日日本日然久日于五十八丁们确然五确决城安米	03 00
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	<u>-</u>
•	
1. 著者名	4 . 巻
新家杏奈,佐藤翔輔,今村文彦	-
	<u> </u>
新家杏奈,佐藤翔輔,今村文彦 2.論文標題	5 . 発行年
2 . 論文標題中学生にもできる津波避難者の思考・移動変化の調査手法の開発と実践:気仙沼市立鹿折中学校防災学習	- 5.発行年 2021年
2 . 論文標題 中学生にもできる津波避難者の思考・移動変化の調査手法の開発と実践:気仙沼市立鹿折中学校防災学習 の事例	2021年
2 . 論文標題 中学生にもできる津波避難者の思考・移動変化の調査手法の開発と実践:気仙沼市立鹿折中学校防災学習 の事例 3 . 雑誌名	2021年 6.最初と最後の頁
2 . 論文標題 中学生にもできる津波避難者の思考・移動変化の調査手法の開発と実践:気仙沼市立鹿折中学校防災学習 の事例	2021年
2.論文標題中学生にもできる津波避難者の思考・移動変化の調査手法の開発と実践:気仙沼市立鹿折中学校防災学習の事例3.雑誌名	2021年 6.最初と最後の頁
 2.論文標題 中学生にもできる津波避難者の思考・移動変化の調査手法の開発と実践:気仙沼市立鹿折中学校防災学習の事例 3.雑誌名 第39回日本自然災害学会年次学術講演会講演概要集 	2021年 6.最初と最後の頁 19-20
2 . 論文標題 中学生にもできる津波避難者の思考・移動変化の調査手法の開発と実践:気仙沼市立鹿折中学校防災学習の事例 3 . 雑誌名 第39回日本自然災害学会年次学術講演会講演概要集 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2021年 6.最初と最後の頁 19-20 査読の有無
2 . 論文標題 中学生にもできる津波避難者の思考・移動変化の調査手法の開発と実践:気仙沼市立鹿折中学校防災学習 の事例 3 . 雑誌名 第39回日本自然災害学会年次学術講演会講演概要集	2021年 6.最初と最後の頁 19-20
2 . 論文標題 中学生にもできる津波避難者の思考・移動変化の調査手法の開発と実践:気仙沼市立鹿折中学校防災学習の事例 3 . 雑誌名 第39回日本自然災害学会年次学術講演会講演概要集 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし	2021年 6.最初と最後の頁 19-20 査読の有無 無
2 . 論文標題 中学生にもできる津波避難者の思考・移動変化の調査手法の開発と実践:気仙沼市立鹿折中学校防災学習の事例 3 . 雑誌名 第39回日本自然災害学会年次学術講演会講演概要集 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2021年 6.最初と最後の頁 19-20 査読の有無

1.著者名 渡邉勇,佐藤翔輔,今村文彦	4.巻
2.論文標題 東日本大震災の教訓の理解が防災行動に及ぼす効果の定量評価	5 . 発行年 2021年
3.雑誌名 第39回日本自然災害学会年次学術講演会講演概要集	6.最初と最後の頁 1-2
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著

4 . 巻
76
5 . 発行年
2020年
6.最初と最後の頁
I 1309 ~ I 1314
1_1000 1_1011
査読の有無
有
国際共著
-

〔学会発表〕 計67件(うち招待講演 0件/うち国際学会 9件)

1 . 発表者名

Shosuke Sato, Fumihiko Imamura

2 . 発表標題

Tsunami Disaster Tradition before the 2011 Great East Japan Earthquake and the Effectiveness of Casualty Reduction

3 . 学会等名

17th World Conference on Earthquake Engineering (国際学会)

4.発表年

2020年

1.発表者名

門倉七海,佐藤翔輔,今村文彦

2 . 発表標題

大規模水害発生から50年経過した被災地での記憶や備えに及ぼす影響要因に関する研究:新潟県関川村の事例

3 . 学会等名

日本災害情報学会若手研究発表大会

4 . 発表年

2021年

1.発表者名 佐藤翔輔
2 . 発表標題 令和元年東日本台風と令和2年7月豪雨における「犠牲者ゼロ」地域の共通点と課題
3.学会等名 第39回日本自然災害学会年次学術講演会
4 . 発表年 2021年
1.発表者名 新家杏奈,佐藤翔輔,今村文彦
2.発表標題 中学生にもできる津波避難者の思考・移動変化の調査手法の開発と実践:気仙沼市立鹿折中学校防災学習の事例
3.学会等名 第39回日本自然災害学会年次学術講演会
4 . 発表年 2021年
1.発表者名 渡邊勇,佐藤翔輔,今村文彦
2 . 発表標題 東日本大震災の教訓の理解が防災行動に及ぼす効果の定量評価
3.学会等名 第39回日本自然災害学会年次学術講演会
4.発表年 2021年
1.発表者名 市川健,那須野新,天谷香織,楢館晋,佐藤翔輔,橋本雅和,今村文彦
2 . 発表標題 地域コミュニティが関わる河川維持管理の事例分析 - 宮城県小西川を対象にした質的調査から -
3.学会等名 第39回日本自然災害学会年次学術講演会
4.発表年 2021年

1.発表者名 門倉七海,佐藤翔輔,今村文彦
2 . 発表標題 地形的リスクが及ぼす災害の記憶や備えへの影響 - 羽越水害経験した新潟県関川村 -
3.学会等名 令和2年度土木学会東北支部技術研究発表会
4 . 発表年 2021年
1.発表者名 川合将矢,新家杏奈,佐藤翔輔,今村文彦
2 . 発表標題 ミリング行動に着目した避難行動特性の解明: 名取市閖上地区の事例
3.学会等名 令和2年度土木学会東北支部技術研究発表会
4 . 発表年 2021年
1.発表者名 佐藤翔輔
2 . 発表標題 行政機関を越えて自治体職員の「語り」を活用する災害対応経験の伝承手法の設計と実践:東北地方公務員を対象にした風水害対応に関す る研修事例
3.学会等名 第51回(2022年度)地域安全学会研究発表会(秋季)
4 . 発表年 2022年
1.発表者名 渡邉勇,佐藤翔輔,今村文彦
2 . 発表標題 阪神・淡路大震災,新潟県中越地震,想定首都直下地震の先進事例と比較した東日本大震災の震災伝承施設の学習効果と有用性:利用者視点による災害伝承ミュージアムの類型化による評価の試み
3.学会等名 第51回(2022年度)地域安全学会研究発表会(秋季)

4 . 発表年 2022年

1.発表者名 川合将矢,佐藤翔輔,新家杏奈,渡邊勇,今村文彦
2.発表標題 津波災害時における車渋滞の抑制を目的とする基礎的研究:2021年3月20日宮城県沖地震における宮城県石巻市の住民に見られた避難行動 の分析を通して
3.学会等名 第51回(2022年度)地域安全学会研究発表会(秋季)
4 . 発表年 2022年
1.発表者名 佐藤翔輔,田畑佳祐,今村文彦,向井正大,鮎川一史,有友春樹
2. 発表標題 マイ・タイムラインリーダー養成講座における育成効果に関する実証的分析
3.学会等名 第67回水工学講演会
4 . 発表年 2022年
1.発表者名 田畑佳祐,佐藤翔輔,今村文彦,向井正大,鮎川一史,有友春樹
2.発表標題 非専門家によるマイ・タイムライン講習会の可能性の検証:専門家講習による効果との比較
3.学会等名第67回水工学講演会
4 . 発表年 2022年
1.発表者名 佐藤翔輔,藤田崇宏,遠藤匡範,岩崎雅宏,皆川満洋,高橋里佳,南城真佐英,渡邉勇,今村文彦
2.発表標題 地震発生時間の違いがもたらす津波避難行動の実態事例:2つの地震における宮城県亘理町での比較分析

3.学会等名 第51回(2022年度)地域安全学会研究発表会(秋季)

4 . 発表年 2022年

1 . 発表者名	
成田峻之輔,佐藤翔輔,渡邉勇,新家杏奈,今村文彦	
2.発表標題	
東日本大震災の復興支援調査アーカイブで明らかにされた危険方向移動の実態と提案	
3.学会等名	
第69回海岸工学講演会	
4.発表年	
2022年	
1.発表者名	
佐藤翔輔	
2.発表標題	
災害とともに生きる文化に関する態度尺度の初期検討:「災害共生文化態度尺度」の開発に向けた適用分析と検証	
3.学会等名	
第49回(2021年度)地域安全学会研究発表会(秋季)	
4.発表年	
2021年	
1.発表者名	
門倉七海,佐藤翔輔,今村文彦	
I J点 C/9,CDX701升时,713人12	
2.発表標題	
地理的リスクや災害の記憶が長期間未災地域における住民の備えに及ぼす影響:1967年羽越水害を経験した新潟県関川村の事例	
· G-ze, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	
3. 学会等名	
第49回(2021年度)地域安全学会研究発表会(秋季)	
カT∪に (4∪4 牛皮 / 地外 X 土 ナ 云 W	
4.発表年	
4 . 完衣午 2021年	
ZUZ1 +	
4	-
1. 発表者名	
渡邉勇,佐藤翔輔,今村文彦	
2 7K + 1Æ GE	
2 . 発表標題	
東日本大震災の震災伝承施設の実態把握と効果的な利活用のための提案:来訪者の目的と防災行動変容への効果に着目して	
2	
3 . 学会等名	
第49回(2021年度)地域安全学会研究発表会(秋季)	
4.発表年	
4.発表年 2021年	

1.発表者名
田畑佳祐,佐藤翔輔,今村文彦,向井正大,鮎川一史,有友春樹
2.発表標題
マイ・タイムライン講習会が受講者の避難行動に関する知識・態度に及ぼす効果の検証 地域防災リーダーを対象とした試みー
3.学会等名 第66回水工学講演会
第66回水工学講演会
4.発表年
2021年
1.発表者名
佐藤翔輔
2.発表標題
2 : 元秋()示성 中学生が行う被災体験の聞き取り学習に関する分析:階上中学校における東日本大震災を対象にした災害伝承の学習事例
A MA A A A A A A A A A A A A A A A A A
3.学会等名
第47回(2020年度)地域安全学会研究発表会(秋季)
4.発表年
2020年
1 . 発表者名
新家杏奈,佐藤翔輔,今村文彦
2. 発表標題
2 .
心っ久心と沙却社中で祖のログビに序放煙栽门野型住のガツ・木口や人辰火人辰火光土時の火川山中的上地区の事例
3.学会等名
第47回(2020年度)地域安全学会研究発表会(秋季)
A 改革体
4 . 発表年 2020年
۲۵/۲۵ ۱۲
1.発表者名
1.光极有石 門倉七海,佐藤翔輔,今村文彦
2 . 発表標題
発災から50年経過した水害被災地の記憶と備えの実態分析:1967年羽越水害をまつりで伝承する新潟県関川村
3 . 学会等名
第47回(2020年度)地域安全学会研究発表会(秋季)
4.発表年
2020年

1.発表者名 渡邉勇,佐藤翔輔,八木秀文.今村文彦
2 . 発表標題 東日本大震災の教訓は伝わっているのか - 東北大学MOOC受講者を事例対象にした評価の試み -
3.学会等名 第47回(2020年度)地域安全学会研究発表会(秋季)
4 . 発表年 2020年
1.発表者名 池田真幸,佐藤翔輔
2 . 発表標題 東日本大震災アーカイブの活用実態に関する調査分析
3.学会等名 第47回(2020年度)地域安全学会研究発表会(秋季)
4 . 発表年 2020年
1.発表者名 秋元康男,佐藤翔輔,紅谷昇平
2 . 発表標題 被災自治体の災害対応の課題・教訓を継承するための記録の作成及び訓練・研修の実施に関する実態把握
3.学会等名 第47回(2020年度)地域安全学会研究発表会(秋季)
4 . 発表年 2020年
1 . 発表者名 Shinka Anna, Shosuke Sato, Fumihiko Imamura
2 . 発表標題 Development a method for analyzing testimonies at the time of the tsunami disaster using dual process theory
3.学会等名 World BOSAI Forum / IDRC 2023(国際学会)
4 . 発表年 2023年

1 . 発表者名 Yu Watanabe, Shosuke Sato, Fumihiko Imamura, Hisashi Matsubara
2 . 発表標題 Impacts of Handing Down Disaster Experiences on Storytellers and Successors: A Case Study of PBL Classes at Tohoku University
3.学会等名 World BOSAI Forum / IDRC 2023(国際学会)
4 . 発表年 2023年
1 . 発表者名 Shunnosuke Narita, Shosuke Sato, Fumihiko Imamura
2. 発表標題 : The guidance with balloon for tsunami evacuation
3.学会等名 World BOSAI Forum / IDRC 2023(国際学会)
4 . 発表年 2023年
1.発表者名 川合将矢,佐藤翔輔,マス エリック,新家杏奈,今村文彦
2 . 発表標題 津波避難時の渋滞緩和のための徒歩避難促進手法の提案:宮城県石巻市における実践例
3.学会等名 令和4年度土木学会東北支部技術研究発表会
4 . 発表年 2023年
1.発表者名 若木望,佐藤翔輔,渡邉勇,今村文彦
2 . 発表標題 震災語り部プログラム「ツナミリアル」の効果検証に関する実験的研究
3.学会等名 令和4年度土木学会東北支部技術研究発表会
4,発表年

2023年

1.発表者名 佐藤翔輔,安田健志,津村翔士
2 . 発表標題 直接的に防災と接点のないフィールドからアプローチする防災啓発の一形態:ヤフー防災模試を活用したソナエルJapan杯の事例研究
3 . 学会等名 日本災害情報学会 第25回学会大会
4.発表年
2022年
1.発表者名
在藤翔輔
2.発表標題
2 . 光な標題 吉田川流域の実態にみる「流域治水」概念に対する考察
2 24 6 47 47
3.学会等名 第41回日本自然災害学会年次学術講演会
4.発表年
2022年
1
1.発表者名 渡邉勇,佐藤翔輔,今村文彦
2.発表標題 マイ・タイムライン講習会の講習内容と受講者の学習効果・主観的有用性の関係:宮城県大郷町を事例として
NAME OF THE OWNER OW
3.学会等名 第41回日本自然災害学会年次学術講演会
4.発表年
2022年
1 . 発表者名 語り部学習におけるオンライン学習形式と対面形式の比較 - 時短型・災害疑似体験プログラム「ツナミリアル」の事例 -
2 . 発表標題 若木望,佐藤翔輔,渡邊勇,今村文彦
a NA A COLO
3.学会等名 第41回日本自然災害学会年次学術講演会
4 . 発表年
2022年

1.発表者名 佐藤翔輔
2 . 発表標題 ハザード種を越えて災害対応の経験知を発揮できるか:宮城県庁における2011年東日本大震災と2019年台風19号の対応事例
3 . 学会等名 地域安全学会東日本大震災連続ワークショップ 2022 in 名取
4 . 発表年 2022年
1.発表者名 秋元康男,前川啓佑,芳賀洋介,髙橋義宏,佐藤翔輔
2.発表標題 宮城県気仙沼市における震災の教訓等を伝承する職員研修の実践
3 . 学会等名 地域安全学会東日本大震災連続ワークショップ 2022 in 名取
4 . 発表年 2022年
1.発表者名 中川政治,佐藤翔輔
2.発表標題 石巻南浜復興祈念公園の検討プロセスと市民参画・協働の取り組み
3 . 学会等名 地域安全学会東日本大震災連続ワークショップ 2022 in 名取
4 . 発表年 2022年
1.発表者名 浅利満理子,中川政治,佐藤翔輔
2.発表標題 コロナ禍における東日本大震災被災3県の伝承活動の変化と今後の展望
3 . 学会等名 地域安全学会東日本大震災連続ワークショップ 2022 in 名取
4 . 発表年 2022年

1.発表者名 渡邊勇,佐藤翔輔,今村文彦
2.発表標題 来訪者の防災力に応じた効果的な被災地訪問学習:東日本大震災を事例とした初期検討
3 . 学会等名 地域安全学会東日本大震災連続ワークショップ 2022 in 名取
4 . 発表年 2022年
1.発表者名 佐藤翔輔,大須武則,黒澤健一
2.発表標題 語り部学習を活用した時短型・災害疑似体験学習プログラム「ツナミリアル」の開発と試行
3.学会等名 第50回(2022年度)地域安全学会研究発表会(春季)
4 . 発表年 2022年
1.発表者名 渡邊勇,佐藤翔輔,今村文彦
2.発表標題 発災10年間にみる被災地来訪者の「期待」の推移:東日本大震災被災地における震災学習への関心
3.学会等名 第50回(2022年度)地域安全学会研究発表会(春季)
4 . 発表年 2022年
1.発表者名 浅利満理子,中川政治,佐藤翔輔
2 . 発表標題 震災伝承の「担い手」研修と活動評価に関する実態把握 - 東日本大震災被災地:岩手・宮城・福島の3県を対象に -
3.学会等名 第50回(2022年度)地域安全学会研究発表会(春季)
4 . 発表年 2022年

1.発表者名 竹順哉,岩垣津信太朗,石塚隆之,石井雄司,杓子尾駿,植竹香織,上田啓瑚,松尾紀明,多田明世、森下美穂,佐藤翔輔
2 . 発表標題 アフターファイブにおける災害対応ステークホルダーの「顔が見える」関係構築とその効果~よんなな防災会がつなげる防災の輪~
3.学会等名 第50回(2022年度)地域安全学会研究発表会(春季)
4. 発表年 2022年
1.発表者名 新家杏奈,佐藤翔輔,今村文彦
2 . 発表標題 津波避難行動詳細インタビューによる生きる力の長期的な変化
3 . 学会等名 令和3年度土木学会東北支部技術研究発表会
4 . 発表年 2022年
1.発表者名 渡邉勇,佐藤翔輔,今村文彦
2 . 発表標題 東日本大震災を事例とした傾向スコア法を用いた被災地訪問学習の効果分析
3 . 学会等名 令和3年度土木学会東北支部技術研究発表会
4 . 発表年 2022年
1.発表者名 田畑佳祐,佐藤翔輔,今村文彦
2.発表標題学生主催のマイ・タイムライン講習会の実施と効果
3 . 学会等名 令和3年度土木学会東北支部技術研究発表会
4 . 発表年 2022年

1. 発表者名
成田峻之輔,佐藤翔輔,今村文彦,渡邉勇,田畑佳祐
2.発表標題
東日本大震災の復興支援調査アーカイブにみられる危険方向移動者の特性
2
3 . 学会等名 令和3年度土木学会東北支部技術研究発表会
VIRGINALINI ANNIONINANIONINA
4.発表年
2022年
1.発表者名
藤田崇宏,佐藤翔輔,今村文彦,渡邉勇
2.発表標題
異なる時間帯に発生した津波避難行動の検討:2016年福島県沖地震と2021年宮城県沖地震の事例
3 . 学会等名
令和3年度土木学会東北支部技術研究発表会
4.発表年
2022年
1.発表者名 - 佐藤物輔、清藤原第二法网络、克夫茨株
佐藤翔輔,遠藤匡範,辻岡綾,立木茂雄
고 장후·#···································
2.発表標題 「抜き打ち」型で実践した自治体の災害対応初動訓練の評価:亘理町における2回の実践から
がこうう 主 く人はらた日日日中の人日がいかい間間・三年八七の八の七日の人はいう
第49回(2021年度)地域安全学会研究発表会(秋季)
4.発表年 2021年
2021年
1.発表者名
岩崎雅宏,皆川満洋,佐藤翔輔,今村文彦
2 . 発表標題
防災分野での国際標準化に関する意識の現状
3.学会等名
第49回(2021年度)地域安全学会研究発表会(秋季)
4.発表年
2021年

1.発表者名 川合将矢,新家杏奈,佐藤翔輔,今村文彦
2 . 発表標題
ミリング行動に着目した津波避難行動の特徴に関する研究:津波避難行動詳細インタビューを用いた名取市閖上地区における分析
3.学会等名 第49回(2021年度)地域安全学会研究発表会(秋季)
4 . 発表年
2021年
1.発表者名 佐藤翔輔
12-12-4/35-Till
2 . 発表標題 若者の「防災観」に関する一考察
3.学会等名 第40回日本自然災害学会年次学術講演会
4 . 発表年 2021年
1.発表者名 新家杏奈,佐藤翔輔,今村文彦
2.発表標題
中学生による津波避難行動詳細インタビュー調査手法の聞き取り効果に関する分析の試み
3.学会等名
第40回日本自然災害学会年次学術講演会
4 . 発表年 2021年
1. 発表者名
渡邉勇,佐藤翔輔,今村文彦
2 . 発表標題 東日本大震災の被災地訪問学習が災害時の「生きる力」に与える効果
ポロや八辰久vxxxxが100mが100mが100mが100mが100mが100mが100mが
3.学会等名 第40回日本自然災害学会年次学術講演会
4 . 発表年 2021年

1.発表者名 鈴木由美,柳谷理沙,佐藤翔輔,田中聡,重川希志依
2.発表標題 Team Sendai(チームセンダイ)による被災自治体職員の災害対応の継承に関する研究~その3:朗読の作成プロセスに着目して
3 . 学会等名 地域安全学会東日本大震災連続ワークショップ 2022 in 名取
4 . 発表年 2022年
1.発表者名 柳谷理沙,鈴木由美,佐藤翔輔,田中聡,重川希志依
2 . 発表標題 自治体職員が行う災害エスノグラフィー調査・編集・活用のプロセスの確立:仙台市職員間伝承プログラムの開発
3 . 学会等名 地域安全学会東日本大震災連続ワークショップ 2022 in 名取
4 . 発表年 2022年
1.発表者名 渡邉勇,佐藤翔輔,今村文彦
2 . 発表標題 東日本大震災の震災伝承施設の利用者の訪問パターンと防災行動変容への効果
3 . 学会等名 地域安全学会東日本大震災連続ワークショップ 2022 in 名取
4 . 発表年 2022年
1.発表者名 中川政治,佐藤翔輔,浅利満理子
2 . 発表標題 東日本大震災発災10年後の伝承活動の現状と復興原則や提言の実現度調査
3 . 学会等名 地域安全学会東日本大震災連続ワークショップ 2022 in 名取
4 . 発表年 2022年

1 . 発表者名 Jehan Fe Panti, Shosuke Sato, Fumihiko Imamura
2 . 発表標題 Evacuation Behavior During Typhoon Hagibis ? the Case of Flood-affected Towns in Miyagi Prefecture ?,
3 . 学会等名 Asia Oceania Geosciences Society (AOGS) 2021 VIRTUAL, 18th Annual Meeting(国際学会)
4 . 発表年 2021年
1.発表者名 佐藤翔輔,中川政治,藤間千尋,伊藤聖子,福田貴史
2 . 発表標題 震災伝承の「担い手」育成と連携を目指した研修の試み:宮城県震災伝承活動推進研修の事例
3.学会等名 第48回(2021年度)地域安全学会研究発表会(春季)
4 . 発表年 2021年
1.発表者名 新家杏奈,佐藤翔輔,今村文彦
2 . 発表標題 中学生による津波避難行動に焦点を当てた探求学習のアウトプットの分析:気仙沼市立鹿折中学校の事例
3.学会等名 第48回(2021年度)地域安全学会研究発表会(春季)
4 . 発表年 2021年
1.発表者名 渡邊勇,佐藤翔輔,今村文彦
2 . 発表標題 東日本大震災の震災伝承施設への支払意思額と施設での学習・体験内容の関連分析
3.学会等名 第48回(2021年度)地域安全学会研究発表会(春季)
4 . 発表年 2021年

1.発表者名

秋元康男,佐藤翔輔

2 . 発表標題

発災から25年経過した災害対応の経験・教訓の継承に関する実態分析 - 阪神・淡路大震災の被災自治体を対象にして -

3.学会等名

第48回(2021年度)地域安全学会研究発表会(春季)

4.発表年

2021年

1.発表者名

Shosuke Sato, Anna Sinka, Katsumi Sato, Satoru Kumagai, Masaharu Nakagawa, Mariko Asari, Shunji Iwama, Satoshi Takahashi, Takashi Honda, Fumihiko Imamura

2 . 発表標題

An Exhibition for Disaster Tradition Based on Academic Achievement and Knowledge: Visualization of Tsunami Evacuation Behavior in Hashikami, Kesennuma City

3. 学会等名

The 30th International Tsunami Symposium (国際学会)

4.発表年

2021年

1. 発表者名

Shinka Anna, Shosuke Sato, Fumihiko Imamura

2 . 発表標題

Memories of victims' behavior regarding tsunami evacuation - Interview survey 8 years after the 2011 Great East Japan Earthquake

3.学会等名

The 30th International Tsunami Symposium (国際学会)

4.発表年

2021年

1.発表者名

Yu Watanabe, Shosuke Sato, Fumihiko Imamura

2 . 発表標題

Understanding lessons learned from 2011 Great East Japan Earthquake on individual disaster preparedness: An evaluation from participants for Tohoku University MOOC online lecture

3 . 学会等名

The 30th International Tsunami Symposium (国際学会)

4.発表年

2021年

1	
	. жир б

Shosuke Sato, Fumihiko Imamura

2 . 発表標題

Tsunami Disaster Tradition before the 2011 Great East Japan Earthquake and the Effectiveness of Casualty Reduction

3 . 学会等名

17th. World Conference on Earthquake Engineering, (国際学会)

4 . 発表年

2020年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

_

6.研究組織

. 6	. 研究組織		
	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
	重川 希志依	常葉大学・大学院・環境防災研究科・教授	
研究分担者	(Shigekawa Kishie)		
	(10329576)	(33801)	
	立木 茂雄	同志社大学・社会学部・教授	
研究分担者	(Tatsuki Shigeo)		
	(90188269)	(34310)	
	田中聡	常葉大学・大学院・環境防災研究科・教授	
研究分担者	(Tanaka Satoshi)		
	(90273523)	(33801)	

7.科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------